



「今までの努力は無駄にはならない」

本校では、多くの生徒がクラブ活動に積極的に参加して、文武両道を実践しています。

しかし、現在、クラブ活動に取り組んできた多くの生徒の皆さんは、心沈む思いだと思います。新型コロナウイルスの影響で全国高校総体（インターハイ）と全中大会が中止となり、高校野球選手権の開催の見送りも発表されました。スポーツだけではなく、吹奏楽コンクールや合唱のNHKコンクールも取りやめになりました。高校の全国総合文化祭は会場に集う方式を断念し、ネットでの作品提供や動画発信となる予定です。

仲間とともに力と技を磨き、互いに高め合いながら成果を披露する。その晴れ舞台が失われてしまったことの落胆ややるせなさは、運命のいたずらというにはあまりにも残酷で、かける言葉も簡単には見つかりません。

都レベルで独自に大会の開催を探る動きもありますが、学校としても「最後の大会」にかけていた最上級生には、教室や体育館やグラウンドなどでのささやかのものであっても、仲間と時間を共有した証しを残すことができれば、一つの区切りになるのではないかと考えています。ただし、その際もウイルス対策は欠かせません。

クラブ活動は、仲間を作りスポーツや文化を将来にわたって楽しむ土壌を育みます。今回の自宅学習期間中には、ネットを使ったミーティングや個別練習など新しい手法を生み出す例も出てきました。今回の体験を、学年を超えてのクラブ活動の意義を再確認し、日々の活動やクラブの運営方法を深化させる機会にしてはどうでしょうか。

文部科学省は来年度の大学入試の「総合型選抜」と「学校推薦型選抜」について、5月14日付で全国の大学に対し、多くの大会や行事の中止によって生徒に不利益が及ぶことがないように通知を出しました。その中で「個々の志願者の成果獲得に向けた努力のプロセスや入学を志願する大学で学ぼうとする意欲を多面的・総合的に評価すること。」としています。これにより、活動報告書や志望理由書をより重視することになると思われますので、しっかりと準備することが大切です。

自分でどうすることもできないことは、この先またやってきます。人それぞれ不遇な時に黙々と準備し、明日に備えること、常に前向きになることが大切です。今与えられた時間を無駄にせず有効に活用して過ごしてください。

今までの一つ一つの努力をした経験をプラスに転じて行ってほしいと願っています。

今までの努力は決して無駄になりません。

校長 稲村 隆雄

